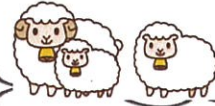


そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 7

2021年10月15日発行



(詩編 133:1)

10月の聖句

『見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんという喜び』

10月5日(火) 平日にもかかわらず応援に駆けつけて下さり、ありがとうございました。「こどもの今は今しかない」ので、今の輝く姿を見て頂けて、職員一同、本当に嬉しかったです。

しろくまちゃんこぐまちゃん組

開会式の時からドドキしているのかな...大丈夫かな...と心配していたのですが観覧席の方を見て、笑顔でお父さんやお母さんに全力で手を叩いている子どもたち!思わず笑ってしまいました(笑)
泣いて会場に来たお友だちもいよいよかけっこの前には涙もとまり、自分の足でゴールする事ができました。笑顔で走り楽しそうに参加してくれていたのがとてもうれしかったです。(さおり先生)



最初、泣いていたお友達も、リズムの時には泣き止み、しろくまちゃんとこぐまちゃんのお面とポンポンを付けて、みんな一緒に歩いて入場することが出来ました。目の前にはお父さんお母さん、周りには沢山のお客さんがいる中で、あの場所にいるだけでもすごいこと、とても嬉しく思いました。そして『おしりフリフリ』の曲が流れるといつもの通りの表情で楽しんでいる姿が見られました。楽しい気持ち体が溢れ出て周りの人達まで楽しませてくれる個性豊かな表現力にとっても感動しました。

また、温かく見守って頂いた保護者の皆様にも感謝の気持ちいっぱいです。

保護者の皆さんから

ありがとうございます。(えみ先生)

(しろくまちゃんこぐまちゃん組) (さおり先生)

普段写真でしか見ることができない子どもの様子を今回初めて実際に見ることができ、とても嬉しく、お友達や先生とこんな風に関わって過ごしているんだなあ、頑張っているなあ~我慢してるなあ~緊張してる~成長したなあ~などいろいろなことを考えながら見ることができました。

我が子だけでなく、お友達や年少さんたちを見ていても、頑張ってるなあ~来年うちの子はあんな風になれるようになってきているのか~と感動して終始ポロポロ涙がこぼれてしまいました。感謝しかありません。大変なご時世の中、準備開催していただき本当にありがとうございました。

当日はいつもより緊張気味なぐりぐらさんでしたが、

ぐりとぐら組

ひとたび運動会が始まると「緊張」を「意欲」に変えて、張り切って、かけっこリズムも発表することが出来たと思います。

かけっこは練習でショートカットしたり、転んでしまったりとアクシデントがありましたが、本番はバッチリみんなゴール目指して一生懸命走ってくれました!

リズムもお家の人が見てくれていることを力に変えている様子で、家族に向けて堂々と踊る子、お友達と顔を見合わせながら楽しく踊る子、サビになるとますます元気いっぱい踊る子... その子たちの今一番出来ることを発表してくれ、子ども達の全身から「楽しい」が伝わってきたと思います。ご

ニコニコ笑顔がかわいかったです。♡

翌日もホールで曲がわかり、自信たっぷりには踊る子もいて、リズムの楽しさや表現することの楽しさを経験できたのかな?と思います。(えりか先生)



ぐりとぐらチーム (おっこ先生、とも先生、しの先生)

初めての運動会ということで「お父さんやお母さんと泣かずに離れられるかな?」と心配していたのですが、(ほとんどの子が)いつも通りのニコニコ笑顔で「おはよう!!」とってくれたので、先生達はみんなびっくり!!

開会式間近になると少し緊張していたようで、まずは顔のマッサージから始めました。マッサージ中は変な顔になるので、みんな「クスクス...」笑い出し、終わる頃には緊張も飛んでいったようです。

かけっこもリズム「宇宙に4チェン」も今までで一番上手で涙をこらえるのが大変でした。とってもかわいかったみんなですが、最後の『ぼよぼよ行進曲』では、お父さんやお母さんに「高い高い」を抱っこしてもらおうと、甘えん坊のみんなに変身していましたね。

心から安心して表情青を見ると「かわいい子」と同時に「かみばさみお母さん」と

保護者の皆さんから

子ども達の頑張りにまた泣きそうになってしまいました。(あべ先生)

○入園から約半年、子供の成長を見ることができ、とても良い一日になりました。競技だけではなく、整列して待っている姿やお友達と仲良くおしゃべりしている姿、先生たちとの信頼関係等、いろいろな姿を見ることができました。約1時間という短い時間でしたが充実した運動会でした。

○延期の目安など、コロナの感染状況によりどうしていくのかを示して下さいましたのは分かりやすく良かったです。運動会の練習も楽しくて仕方がない様子でした。カレンダーに印をつけると「あと3回寝たら~」と毎日カウントダウンをしていました。子どもに運動会の経験をさせてくれたことに感謝します。

○何度見ても、何人目でも感動しますね。今年も素晴らしい運動会をありがとうございました。

エルマーとりゅう組

エルマーリゅうチーム
(ひろニ先生
かおり先生)



今年度も、コロナの影響で運動会を行うことが出来るかどうかの中での練習を続け当日を迎えました。

当日は、競技だけでなく応援している時にもしっかり表現してくれた年長さんだっと思えます。

特に感動したのは、“綱とり”です。練習では勝っていたクラスが当日負けてしまいどうなるかな？と思っていたら、松本先生が結果発表をすると誰からともなく負けたチームの子ども達が、勝ったチームのお友だちに称賛の拍手を送っていたことです。

そして、どの種目も練習以上の力をみんなが出し切れ、一人一人の表情が自信に満ち溢れていた事、みんなで力を合わせて運動会を作り上げ、心が一つになっている姿を見ることが出来たことです。

運動会がいつ中止になるかわからない状況の中でしたが、今まで我慢してきたことを晴らすかのように、最初から最後まで笑顔で楽しく運動会に参加している年長の姿をみていると「心が大きく成長した運動会」だったなと目頭が熱くなりました。

保護者の皆様、当日の応援本当にありがとうございました。

小野 佳代子



行事は誰のために

2016年度に園庭の環境を変える話し合いが始まった時、園庭に山を作ると運動会の練習ができなくなるけどどうしよう、という問題がありました。「1年に1度の行事のために、広いグラウンドを大事にするか、毎日の遊びを大事にするか」の2択から、先生方が選んだのが今の姿です。同時に「行事は子供のため」で、「見せる出来栄を求めて叱責したり、練習を必要以上に繰り返させたり、日常の遊びを大幅に減らしたりしない」と確認しあいました。「楽しい！」と、どの子ども心が開き、体が開き、頑張れる行事でありたいと思います。

★ 今回の運動会アンケート、たくさんの声をお寄せ下さりありがとうございました。

その中に、今年、幼稚園最後の運動会を無事に終えた年長さんの大和なつみちゃんのお母さんからとても嬉しい声をいただき、先生方も感動で胸がいっぱいになりました。

皆さんにも知っていただきたくて、「そらのとり」に載せることをお願いしました。

なつみちゃんのことをよく知らない方にも知って頂けるような文章も加えてもらいましたので、これから半年、この聖十字で過ごすみんなが、また一步深く、仲良くなってくれたら嬉しいです。



夏実は21番目の染色体を通常2本のところ3本持って生まれてきました。ダウン症候群です。一言でダウン症といっても個人差があり、人によって合併症も違いますが、特徴の一つに低緊張があります。低緊張の人は体を支えるための筋肉の張りが弱く、思うように体の動きをコントロールすることができません。不安定になる姿勢をなんとかまっすぐに保とうとするために力を入れるので、疲れやすいと言われています。また、首の頸椎が弱い子が多く、でんぐり返しは禁止されています。足首も弱く、夏実も最近まで足首をしっかり支えてくれるハイカットスニーカーを履いていました。まだ言葉を話すことができないので、手のサインを使ってコミュニケーションをとっています。

みんなと同じことができないこともあります。最後の運動会で頑張れたこと、感謝したいことを書きたいと思います。まず、夏実が徒競走もリレーも自分一人で走りきったことに感謝、感激です！帰ってきてからも、数日経った今も、何度も運動会の話をしてきます。いつも満面の笑みです。自分でやりきった！ということが、大きな自信に繋がったようです。よほど嬉しかったので、今でも家で弟と運動会ごっこをして走っています。夏実が一人で頑張っているように、と、先生たちが作ってくださったスタンプやシールを貼るカードでやる気を出したそうで、今も嬉しそうにカードを見せてくれます。やり方を工夫することで自信を持たせ、やる気を引き出すことができることを私も学ばせてもらいました。子どもたちが最大限に輝けるように、力を発揮できるように、先生たちはいつも一人ひとりをしっかりと見て一生懸命考えてくださっているのだなと感じました。夏実はうまくできない経験が増えてくると、悲しい顔をします。不安なのか自信がないのか、走る以外にも一歩前に踏み出せないことが時々ありますが、運動会での自信をもとに「私はやれる！」と前向きな気持ちを少し持てるようになった気がします。

また、閉会のことばの代表に選んで下さりありがとうございます。喋ることができない子を閉会のことばに選ぶなんて、日本中探しても聖十字だけだと思います。夏実を、ただ単に喋れない子、とみなすのではなく、一緒にやってみよう！と前向きに考えてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。言葉が話せなくても、思っていることや感じていることはたくさんあります。お友だちと一緒に「これから運動会の閉会式を始めます」と一生懸命口を動かしている姿を見て、夏実もみんなと同じ気持ちで言っているのだなと思いました。

子どもたちの心に寄り添ってくれる先生たち、分け隔てなく接してくれていつもそばで応援してくれるお友だち。聖十字幼稚園に通うことができてよかった！と心の底から思っています。ありがとうございました。

大和 佳奈

